

自治体名	秋田県教育委員会 担当課：保健体育課 電話番号：018-860-5202
------	--

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	108 校	② 生徒数	21,008 名	③ 部活動数	1,070 部
--------	-------	-------	----------	--------	---------

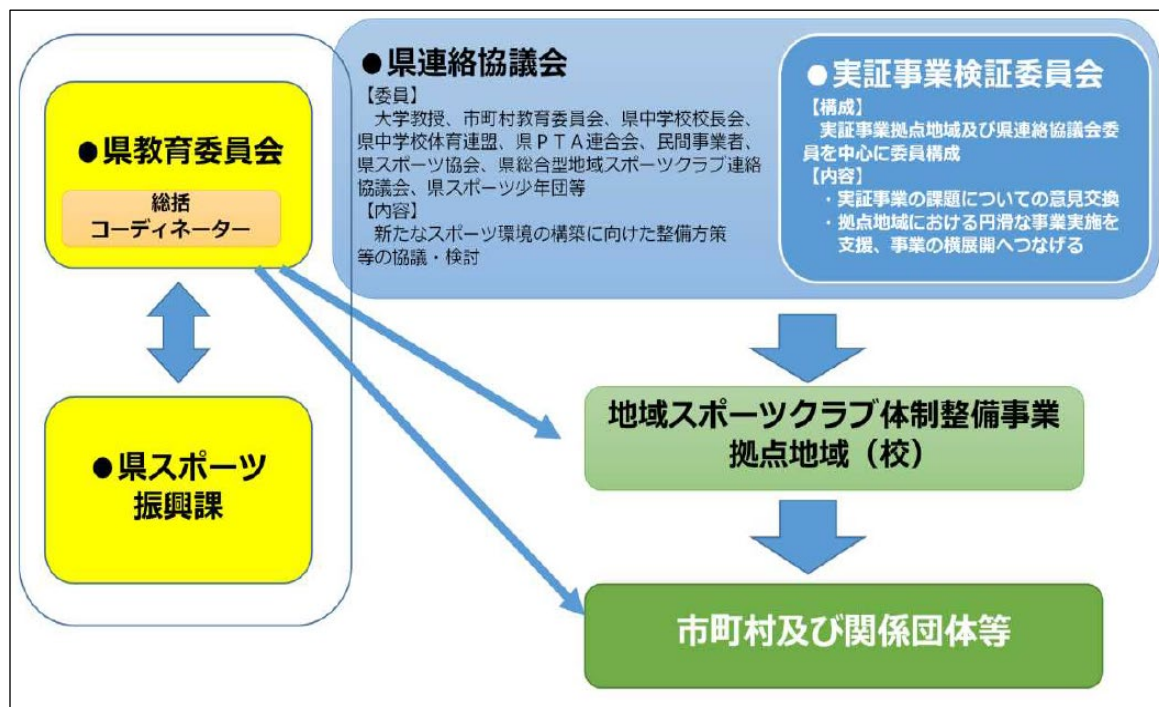
1.2 地域における現状・課題

- ・本県の学校部活動は、少子化の影響により、部員数や部活動数の減少が進み、従来の枠組みでの活動が難しくなっている状況である。特に、中学校では、従前と比べ単独校での活動が難しくなっており、大会への合同チームによる参加数が増えている。
- ・県内の中学校教員数は、年々減少しており、1人の教員が複数の部活動の顧問を担う状況も生じ、部活動指導の教職員への負担も課題となっている。
- ・生徒のスポーツニーズに対応する環境面について、市部と町村部との差も見られることから、学校と地域との連携や学校の枠を超えた広域的な連携による体制づくりを進めていくことが必要である。

1.3 実践研究における取組目標

- ・地域移行に向けた県の連絡協議会や連絡会を立ち上げ、県単位の関係者間の連携体制を構築し、県内の市町村における取組の支援を行うこと。
- ・地域移行支援コーディネーターの拠点地域の訪問指導により、拠点地域や拠点校の直面する課題についての指導・助言を通じて、実践研究が円滑に進められることができるよう支援すること。
- ・実践研究の成果と課題を共有する成果報告会を実施し、本事業に対する市町村担当者の理解を深めるとともに、地域移行の横展開を図る。

1.4 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

□今年度は、次の三つの取組を重点的に進めた。

1 実践研究事業の展開・普及

- 拠点地域における取組状況の訪問視察、意見交換
- 地域移行支援コーディネーターの配置、拠点地域への派遣
- 地域指導者研修会への協力・支援
- 地域運動部活動推進事業成果報告会（R5. 2月）の開催
 - ・県内25市町村等参加

3 調査等

- 公立中学校における運動部活動の外部指導者配置に関する状況調査
- 県立中学校における地域移行に関する意識調査の実施（R4. 12月）
 - ・生徒、保護者対象
 - ・調査内容は市町村へ情報提供
- R5年度予算編成に係る市町村への聞き取り

2 県内の体制整備

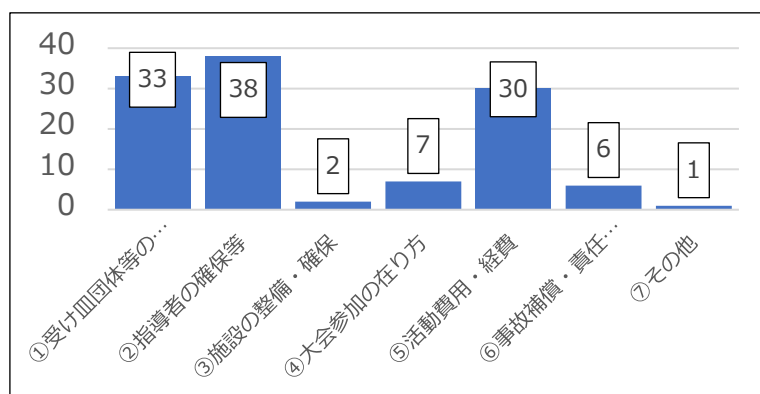
- 地域運動部活動推進事業連絡会
 - ・R4. 6月、9月、11月、R5.1月
 - ・県教委、県スポーツ振興課、県スポーツ協会、県中学校体育連盟の4者会議
- 地域運動部活動推進事業連絡協議会（R5. 1月）
 - ・県内有識者等による11名の委員
- 部活動の地域移行情報交換会（R4. 10月）
 - ・県内25市町村等対象
- 市町村における説明、意見交換
- R5年度当初予算への関連事業編成

3. 実践研究の成果と今後の課題

3.1 実践研究での検証から得た成果

（1）地域移行に向けた想定される市町村の課題

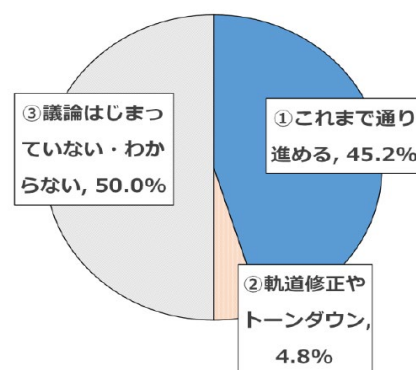
（単位：人 自治体関係者 46 人 ※複数回答可）



【設問に対する回答凡例（1）】

- ①受け皿団体等の確保
- ②指導者の確保等
- ③施設の整備・確保
- ④大会参加の在り方
- ⑤活動費用・経費
- ⑥事故補償・責任所在
- ⑦その他

（2）改革集中期間への方針変更を踏まえた市町村における今後の地域移行の進め方



【設問に対する回答凡例（2）】

- ①これまで通り続ける
- ②軌道修正やトーンダウン
- ③議論がはじまっていない、わからない

- 自治体関係者の地域移行に対する当事者意識の高まり、地域の課題に応じたスポーツ環境整備に対する理解の深まり
- 拠点地域における生徒及び保護者、学校の理解の深まり、スポーツ団体等の地域関係者の理解の促進
- 半数近くの自治体において、地域移行の方針変更後も取組を継続していく意識がある

3.2 地域移行における今後の課題と対応

【今後の課題】

都市部に比べ、人的・物的資源が不足する本県の実情を踏まえると、地域移行に当たっては、人材の確保、施設の整備、保護者の費用負担等の条件整備や合意形成などに時間を要することが想定される。地域の実情に応じた移行を進めていくことが可能となるようにするとともに、地域間の環境整備に格差が生じないよう具体的かつ段階的な支援を進めていく必要がある。

【今後の対応】

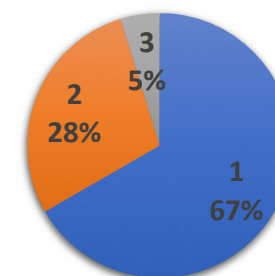
- 総括コーディネーターの配置による体制整備の推進
- 実証事業成果報告会の開催・運営による市町村への支援
- 実証事業検証委員会の立ち上げ・運営による拠点地域への支援

令和4年度地域部活動推進事業 アンケート（生徒）

42名

		1 ない	2 ある	3 わからない
		28	12	2
問1	顧問の先生と部活動の地域指導者の指導内容に違いはありませんか	「2 ある」と回答した理由 ・専門的なことが学べる。 ・より専門的な指導を受けることができる。（戦術など） ・顧問がいるときはトレーニングなどをして、地域の指導者がいるときは、技の練習をしている。 ・練習の内容が少し違うので楽しい。 ・顧問は見ているだけで、地域指導者は教えてくれる。 ・放課後は完全練習ができない。 ・顧問の先生方は基礎となることを、外部コーチは技術的なことを教えてくれる。 ・顧問の先生方とは違った得るものがある。 ・普段の練習より基礎を固める練習が多い。 ・共通の目標だけど、基礎的な練習が多い。		

指導内容の違い



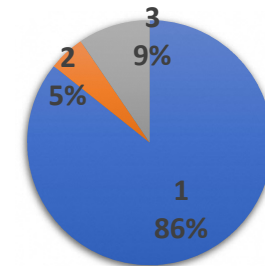
問2	部活動の地域指導者の指導方針や指導内容に、あなたは満足していますか	1 満足している	2 満足していない	3 わからない
		36	2	4
		「1 満足している」と回答した理由 ・ウォーミングアップの時に音楽を流しながら練習をしているのでやる気が出る。基礎体力作りをしてくれる。 「2 満足していない」と回答した理由 ・練習のアップがない。練習を教えてくれない。 ・練習の最初にアップがほしい。 「3 わからない」と回答した理由 ・細部までしっかりと教えてくれると良いと思う。		

問3	休日の練習時間は、どれくらいがよいですか	1 1時間程度	2 2時間程度	3 3時間程度	4 練習しない方がよい
		0	8	34	0

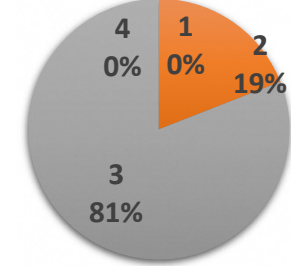
問4	休日の練習会場への交通手段は何ですか (複数回答あり)	1 徒歩	2 自転車	3 保護者の車	4 その他
		7	20	34	1
		「4 その他」の内容 ・バス			

問5	あなたは休日の練習に楽しく参加していましたか	1 楽しく参加した	2 楽しくなかった	3 どちらともいえない
		36	1	5

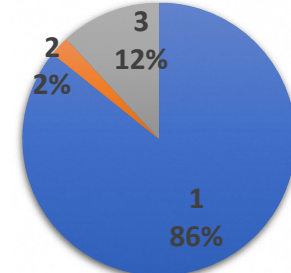
指導内容に満足か



練習時間



楽しいか



<部活動の地域移行についての御意見>

【男子バスケットボール】

- ・どちらでもよい。
- ・今のままでよい。（7名）
- ・練習したい人ができるので良いと思う。
- ・練習を自主的にしたい人だけが参加できるのでいいと思う。
- ・全員が真面目にできるようなメニューがあればいいと思った。

【ハンドボール】

- ・やっていて楽しい。
- ・実際にやってみて楽しいと思う。
- ・地域指導者が来てくれる分、たくさんのコーチたちから指導が受けられて自分のためにもなるし、チームでも一丸となってプレーできるので良いと思う。
- ・部活動で地域の指導者が来てくれているおかげでプラスになっていると思う。
- ・先生方の負担が減り、良いことだとは思う。
- ・技術を身に付けたり、学んだりできることがいいと思う。
- ・多くの大人などと関わることができ、礼儀が身に付く。
- ・地域指導者の方は一人一人に分かりやすく教えてくれていいと思う。
- ・たくさんのコーチがいるのでいいと思った。
- ・とてもいいと思う。（4名）

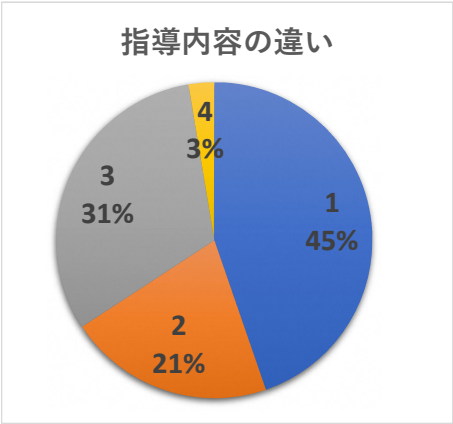
【柔道】

- ・他の先生たちが知識があまりなくても、それを補うように地域指導者の人たちが教えてくれるから嬉しい。
- ・とてもいいと思う。細かいところまで詳しく教えてくれるので、メリットも多い。
- ・全然地域移行した方がいい。いろんな先生が来てくれて楽しい。
- ・鈴木先生と秀俊先生は仕事もあるのに、わざわざ来ていただいて感謝している。

令和4年度地域部活動推進事業 アンケート（保護者）

40名

		1 ない	2 ある	3 わからない	4 未回答
		17	8	12	1
問 1	顧問の先生と部活動の地域指導者の指導内容に違いはありませんか	「1 違いはない」と回答した理由 ・基本的な指導方法は顧問の先生の指導を引き継いでいると思います。また、地域指導者の+αがあると思う。 ・経験のある先生方なので違いは感じられない。 「2 違いがある」と回答した理由 ・逆のことを言われたときにどちらの考えをやればいいのか判断が付かないことがある ・競技に、より専門的な技術指導がされている。 ・顧問の先生と比べ、より専門的な指導（戦術等） ・柔道の専門的な技術については地域指導者に指導してもらっている。 ・専門的なことを学べる。 ・技術的な面（知識含む）で経験者が教えるということで明らかな違いがある。指導精度がよくなり、チームが強くなる。 ・競技に対して、専門的技術もそうだが、熱量が違うと思う。 ・平日の放課後練習では乱取り等ができないそうで、主に筋トレがメインと聞いている 「未回答」の理由 ・地域指導者の指導を受けたことがない			



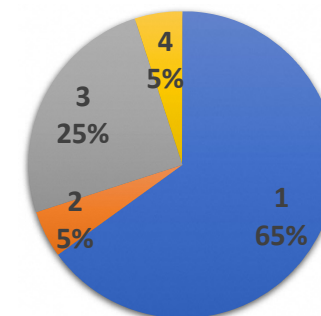
		1 満足している	2 満足していない	3 わからない	4 未回答
		26	2	10	2
問2	部活動の地域指導者の指導方針や指導内容に、あなたは満足していますか	「1 満足している」と回答した理由 ・ある程度の結果を残してくれているし、外部コーチの紹介で遠征等も増えた。 ・生徒に年齢が近い分、より新鮮な指導方法で、短時間でも内容が濃く、後に生徒の自信に結び付くと感じている。 ・経験に基づいた新しい感覚の指導をしていただいているように思う。 ・指導者自身もスキルアップを図り、時代の流れに沿った指導をしてきている。 「2 満足していない」と回答した理由 ・練習が少ない。 「3 わからない」の回答者が望む内容 ・子どもたちが目指す方向に沿った指導をしてほしい。 ・子どもたちが求めていることに対して指導をしてほしい。			

		1 1時間程度	2 2時間程度	3 3時間程度	4 練習しない方がよい
問3	休日の練習時間は、どれくらいがよいですか	0	6	32	1
	・その他 5～6時間	1			

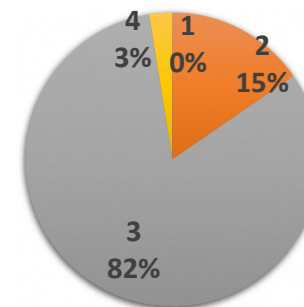
		1 楽しそう	2 楽しそうではなかった	3 わからない
問4	あなたのお子さんは、休日の練習に参加するとき楽しそうに参加していましたか	35	1	3

		男子バスケット	ハンドボール	柔道
問5	保護者が納める部費の金額は、年間いくらですか	24,000円	36,000円	40,000円

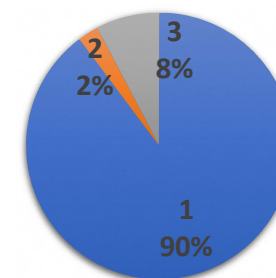
指導内容に満足か



練習時間

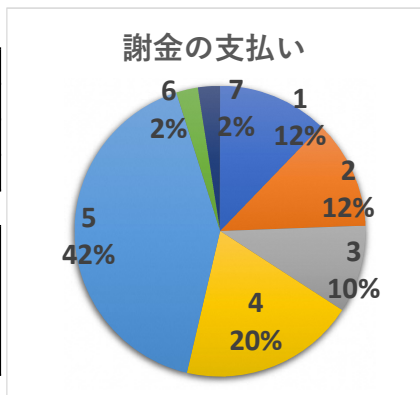


楽しそうか



問 6	保護者としては誰が地域指導者への謝金を負担するべきだと思いますか	1 国や県	2 町	3 保護者	4 国や県、町	5 国や県、町、保護者
		5	5	4	8	17
		6 その他	7 未回答			
		・ その他（国や県、町、教職員）・・・ 1		・ 未回答（相場がわからない）・・・ 1		

問 7	保護者として負担できる地域指導者への謝金は、1ヶ月当たりどれくらいの金額ですか	・ 0円・・・ 2	・ 2円・・・ 1	・ 500円・・・ 1
		・ 1,000円・・・ 8	・ 2,000円・・・12	・ 3,000円・・・ 7
		・ 5,000円・・・ 2	・ 5,000円～10,000円・・・3	
		・ 分からない・・・ 1	・ 部費の中から・・・ 1	・ 未回答・・・ 2



<部活動の地域移行についての御意見>

【男子バスケットボール】

- ・ 家庭の費用負担が増えてくるのであれば、そのスポーツに長けた方がきちんと指導できる環境を整備してほしいと思う。
- ・ 家族、学校以外の人との関わりが増え、良い経験になると思う。
- ・ コーチの確保は困難と思う。
- ・ 外部コーチに移行するのであれば、子どもたちとのコミュニケーション、チームの雰囲気作りなども必要だと思う。個々の能力に沿った指導をしてほしいので、指導者は複数人必要だと思う。
- ・ 地域でしっかりと教えてくれる人がいるのであれば、それでも構わない。金銭的な負担は考えてしまうが。

【ハンドボール】

- ・（地域指導者は）仕事もちながら、プライベートの時間を部活動に当ててくださっている。地域指導者にはありがたい気持ちでいる。指導者の負担増大による部活動の制限や質の低下が生じることなく、子どもが思いっきり部活動を楽しんでいけるといいなと考えている。
- ・外部コーチも自分の仕事をしながら生徒を指導したいへんなので、謝金はしっかりと支払われるようにしたい。
- ・ハンドボールの地域移行については、ここ何年と地域指導者のご尽力により生徒たちも試合の結果に結びついていると思う。よりフレッシュな練習方法が子どもたちの刺激になって、より部活動の意義を強く感じている・
- ・現在の地域指導者の方にはたいへん感謝している。地域移行は良いことだと思うが、地域指導者の方も勤務5日しての休日指導だと、お体の負担があるのではと思う。地域指導者2名で行う方が負担も少ないのではないか。
- ・先生方の負担軽減にはたいへん良いと思うが、平日は少しでも先生方に頑張っているところを見ていただけるとありがたい。
- ・先生方、また地域指導者の方は土日休んでいただいて、平日の放課後の部活動だけでもよいのではないか。
- ・経験者から指導していただけると、より専門的なことを教えてもらえるので良いと思う。レベルアップしているように見えるので良いと思う。
- ・ハンドに関しては地域指導者と子ども・保護者ともに信頼関係ができており、充実した部活動を送れて感謝している。他の部活動にも良い人材がいればと思う。
- ・先生方の負担が少しでも軽減されすのであれば良いと思う。（2名）
- ・技術向上だけでなく、学校教育の一環としての指導方針を重要視した部活動になるようにしてもらいたい。
- ・ハンドボール部の地域指導者の方は、平日も時間をつくって学校に指導しに来ていただけるので、先生方ととても連携がとれている。子どもたちも指導の違いがないのでスムーズに練習している。
- ・顧問の先生には補いきれない指導に期待している。
- ・完全移行は無理と思う。平日は教職員、土日は地域指導者が指導するのが理想かと。部活動云々より、以前に比べて忙しくなったとされる教職の見直しの方が先と思う。（部活動だけが悪者にされている感が否めない）
- ・早期に謝金の負担者を明確化していただきたい。今後の指導者の維持・確保のためにも待遇面もしっかりと担保していただきたい。
- ・種目の特性から、日々戦術も進歩している。多方面から指導を受けることで、子どもたちも意欲をもって練習に参加するようになっている。

【柔道】

- ・教職員の負担軽減という観点から、謝金については県や町で負担してもらいたい。子どもたちの技術の向上につながるので、地域移行の制度自体は賛成。
- ・いつもあつい指導ありがたい。
- ・とても良いと思う。教員の負担軽減にもつながり、メリットも多い。
- ・監督として指名する方は、部員の保護者以外に指定した方がよいと思う。

令和4年度地域部活動推進事業 アンケート (地域指導者)

4名

問 1	部活動顧問の指導方針や指導内容は、あなたの考えと同じですか	1 はい	2 いいえ	3 わからない
		4	0	0
問 1	どのような指導方針や指導内容を求めていますか	・ 個の能力に応じた指導、同じ目標をもたせる。		

問 2	あなたは生徒への適切な指導を行うために必要な研修を受けたことがありますか	1 ある	2 ない
		2	2
	受けたことのある研修	・ J A B コーチライセンス講習会 ・ 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者更新研修 ・ 全日本柔道連盟安全指導 コンプライアンス講習会	

問 3	平日と休日の一貫指導のための連携・協力体制はどのように取っていましたか	・ メール、時々一緒に指導 ・ 電話やメール ・ 平日の練習へ参加		
-----	-------------------------------------	---	--	--

問 5	休日の練習時間はどれくらいがよいですか	1 1 時間	2 2 時間	3 3 時間	4 なし
		0	0	4	0

問 6	地域指導者の謝金はどれくらいがよいですか	・ 1 時間 1, 6 0 0 円 ・ 1 回 2, 0 0 0 円 ・ 年間 100, 0 0 0 円 ・ 元々なかった制度なので、持続できる金額でよいと思う
-----	----------------------	---

< 部活動の地域移行について >

- ・ 外部の指導者も同じく仕事をしているので、休日が必要で先生方と同じ立場と思う。複数の指導者の確保が必要と思う。
- ・ 人材確保、謝金の問題。ただ移行すると地域指導者が負担になるだけであまり変わらない。

令和4年度地域部活動推進事業 アンケート（拠点部顧問教諭）

4名

問 1	部活動地域指導者の指導方針や指導内容は、あなたの考えと同じですか	1 はい	2 いいえ	3 わからない
		4	0	0
問 1	どのような指導方針や指導内容を求めていますか	・生徒のスポーツ活動と人間形成を支援するものであると考えている。 ・プレーの向上 ・チームで「全国」という目標に向け、一人一人がそれぞれの役割を果たす。		

問 2	平日と休日の一貫指導のための連携・協力体制はどのように取っていましたか	・私と地域指導者の方が同じチームでプレイしていた期間が長く、簡単な打合せで済んだ。 ・平日の練習にコーチが顔を出す、その日の内容をLINE等で共有するなど、連絡を密に取っている。 ・週に2～3回は練習計画を話し合い、指導のブレが起こらないように心掛けている。 ・平日の練習メニューを準備してもらい、生徒中心に活動できるようにした。
-----	-------------------------------------	--

問 3	保護者が納める部費の金額は、年間いくらですか	男子バスケ	ハンドボール	柔道
		24,000円	36,000円	40,000円

問 4	地域指導者の謝金は、どれくらいの金額が妥当だと思いますか	・1時間 2,000円 ・1回 2,000円 ・1回 3,000円 ・1回 5,000円		
-----	------------------------------	---	--	--

問 5	教師の休日の部活動に従事する時間は、事業前と比べて減りましたか	1 減った	2 増えた	3 変わらない
		4	1	5
問 5	時間的にどのくらいの変化がありましたか	・実施回数が今まで2回と少ないのですが、これが増えると従事する時間はかなり削減できと思う。 ・月4回の練習で計12～15時間が自分の時間として利用できるようになった。 ・年間40～50日		

問 5	地域部活動に移行した場合、兼職兼業の許可を受けた上で、休日の部活動を指導する気持ちはありますか	1 ある	2 どちらかといえばある	3 どちらかといえばない	4 ない
		1	1	1	1

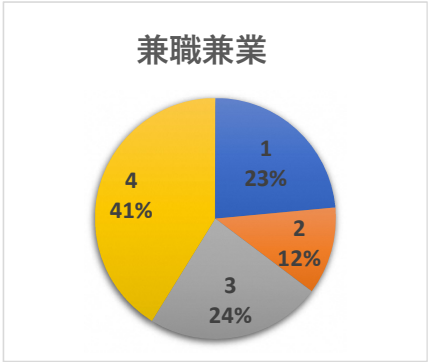
< 部活動の地域移行について >

- ・地域指導者を一人で担当させず、地域の組織で引き受けると負担が減らせると思う。
- ・集まった子どもが目指す者をそろえるのが難しいと思う。レベルの高い指導を受け、勝ちにこだわるなら、それなりの金額や時間が必要であり、なかよし・思い出づくりの場なら休日にまでやらなくてもよいと思う。目的別に学校部活動と地域クラブを使い分けができればベストかなと思っている。
- ・種目の特性から、日々戦術も進歩してきている。多方面から指導を受けることで、子どもたちも意欲をもって参加できるようになっている。
- ・ボランティアという形ではなく、謝金が支払われる体制を整備することで、指導者にとってもプラスになるのではと思う。（謝金がない指導になったとき、指導への熱意だけでいいのか）

令和4年度地域部活動推進事業 アンケート（羽後中学校職員）

17名

		1 ある	2 どちらかといえばある	3 どちらかといえばない	4 ない
問5	地域部活動に移行した場合、兼職兼業の許可を受けた上で、休日の部活動を指導する気持ちはありますか	4	2	4	7



< 部活動の地域移行について >

地域移行に前向き	・自分に専門性がない競技であれば、休日の指導がないことはたいへんありがたい。 ・世の中の流れが地域移行になってきている以上、他の部活動も同様になってほしい。（柔道部顧問） ・生徒がやりたいことができ、充実した活動ができ、スムーズな移行ができるのであればよいと思う。 ・早く実現させていただきたい。とりあえずなくすという動きはないのか。（体制が整ったら移行、だと、いつまでたっても整わない気がする） ・通常の活動が外部で行われている者については、早めに学校から切り離し、大会引率等も実質的指導者に任せるといいと思う。 ・完全に地域に移行した際は、地域に指導を任せたいと思う。地域の体制づくりをどんどん進めていただきたい。 ・教職員の働き方改革がメインの目的だったかと思うが、様々な事が関わってくるものだと思うので、本当に実現できるのか、うまくいくのかは不明。始めてみていろいろ考えなければいけないのでたいへんだと思うが、できる限り尽力したい。
指導者について	・地域に根ざした活動を推進するためにも、地元の若い世代の指導者を育てていきたいと考えている。私も少しでも声を掛けながら、一緒になって指導理論を伝えて行ければと考えている。 ・指導者の方針と中学生の考えが必ずしも一致するとは限らないので、指導者という立場は、可能ならば数人置いたりフォローする存在をつくったりすることも必要ではと思う。 ・「自分ができる範囲で」「自分が教えられる分野なら」担当できるという方は、比較的たくさんいると思う。この点については教員も地域住民も同じだと思う。

地域移行に向けた提案	・町のスポーツクラブとしてまとめるのも一つの案ではないか。 ・部活動と地域クラブの棲み分けができればよいと思う。 ・専門外の競技を担当することが負担という教職員は担当から外すことにして、指導員に任せ、それ以外の教職員は希望すれば部を担当できるようになるといいのではないか。 ・ホッケーは指導者が少なく、移行できるかが不明。ホッケー協会でも、部としてではなく、クラブ化へと言う話題も出ている。中体連に属していないこともあり、鉄尽くなどややこしいところもあるので、クラブ化が一番の選択かなと思う。 ・基本的に休日に試合を行うため、つながりのある指導が必要ではないか。（例：試合での課題を踏まえた練習 など）
地域移行について心配	・平日は教員、休日は指導員が担当するとなったとき、我々の負担は減るが、生徒にとってプラスに働くかは疑問だ。 ・平日の指導と休日の指導が切り離された場合、方向性の違いなどが生まれる可能性があり、そうなると、生徒に悪影響となる。 ・地域移行によって、中学生が「損をする」「他の地域に比べて不利になる」という思いをもたせないようにしたい。 ・多忙化解消だけが目的の地域移行には反対 ・部を担当したいと思う先生がいない部については、地域の方が関わると思うが、技術面や教育的愛情において抵当な人材が地域にいるのかという心配がある。しかし、この点については、「適切な人材がいなかったため、教員を配置する」となった場合でも、質の高い技術指導が保障されるとは限らないので、結局、不満やトラブルの元になってしまいうと思う。 ・全ての部活動が地域移行できればいいが、なかなか難しいように思う。地域移行できた部とできなかった部があれば、担当する先生方に負担の差が出るように思う。
その他	・専門の競技であれば、休日も指導に携わることに前向きな気持ちになる。 ・部活動指導を希望する教職員が一定数いるということを理解しているので、そのような先生方は引き続き部に関わると良いと思う。・地域指導者が加わってくれることで、質の高い指導を受けさせることができおり、確実に、成績面に現れているのは事実だと思う。ハンド部では、ほとんど全員が勝ちにこだわり、保護者にも理解していただいているため、多少不便や難儀を掛けても納得していただいている。 ・大会参加の形態や運営など、分からないことが多いので、部活動の運営がどうなるか知りたい。 ・今後、コーチ代や部費等でお金が動くとなったとき、専門的なコーチングには、それなりの金額が必要であり、時間ももっと必要になると思う。

自治体名	秋田県 羽後町教育委員会 担当課：学校教育・社会教育班 電話番号：0183-62-2111
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

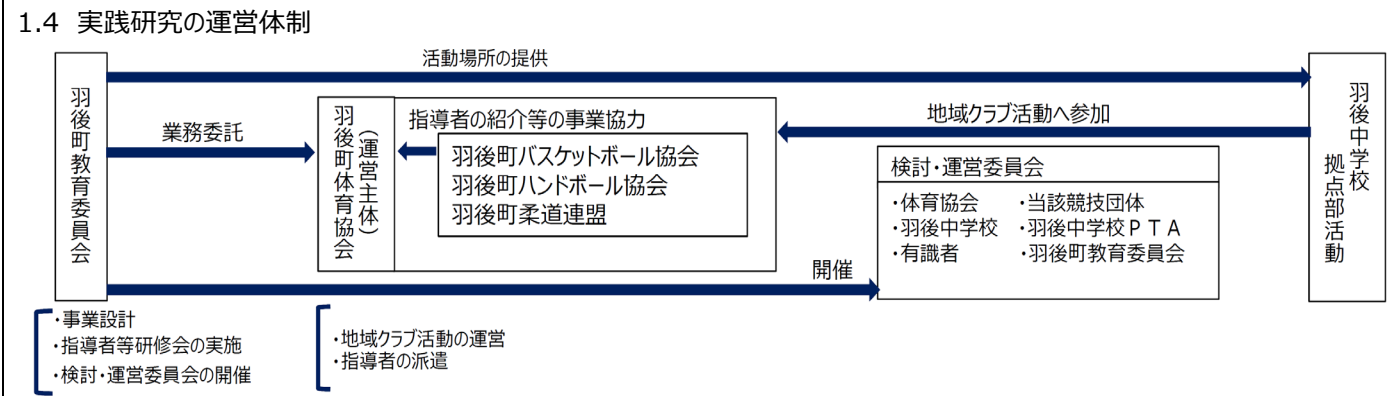
① 中学校数	1校	② 生徒数	331人	③ 部活動数	18部活
--------	----	-------	------	--------	------

1.2 地域における現状・課題

長年継続してきた現在の部活動や大会の形が定着している中で、なぜ今、地域移行しなければならないのかを学校関係者以外に浸透させることが難しい。また、地域に指導者が少ない上に、競技により偏りがある。

1.3 実践研究における取組目標

- ・地域の特性を踏まえた持続可能な地域部活動の枠組みを構築する。
- ・地域部活動に移行する三つの拠点部活動においては、教師の負担を軽減し生徒・保護者の満足度を向上させる。



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

【地域への周知のために】 地域への周知のための研修会「羽後町スポーツ指導者等研修会」を実施した。羽後町の取組の報告や国や県の方針等についての説明を行った。質疑応答やアンケートで、参加者から多様な意見をいただいた。

【組織で運営するために】 令和3年度の組織を土台とした検討・運営委員会を設置し、年3回の検討・運営会議を実施した。会議においては、進捗状況や課題の確認を行い、改善策について検討したことをその後の運営に生かした。

【指導者確保のために】 羽後町体育協会から派遣された指導者に加え、現在、地域の競技団体等で活動している方、競技経験や指導経験がある方等、地域部活動に関わることができる協力者、指導者を発掘することとした。（拠点部活動以外の部活動の指導者についても）

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	1校（域内唯一の中学校）
② 実践研究に取り組んだ部活動数	3部活
③ 種目	男子バスケットボール、ハンドボール、柔道

《主な取組例（1）》…羽後町立羽後中学校			
① 運営主体	羽後町体育協会		
② 種目	ハンドボール	③ 参加者数	34人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	三輪中学校体育館、羽後アリーナ
⑥ 指導者人数	1人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間

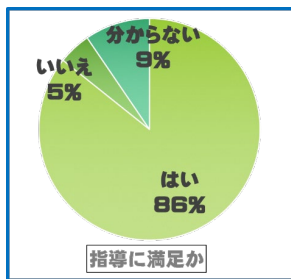
⑧ 指導者属性	羽後町ハンドボール協会所属（日本ハンドボール協会公認指導員）		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

《主な取組例（２）》…羽後町立羽後中学校

① 運営主体	羽後町体育協会		
② 種目	柔道	③ 参加者数	11 人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	羽後町立羽後中学校武道場
⑥ 指導者人数	3 人	⑦ 謝金単価	1 人あたり 1,600 円/時間
⑧ 指導者属性	羽後町柔道連盟所属（日本スポーツ協会公認コーチ、全日本柔道連盟公認指導者）		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収なし		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

＜生徒＞



- 学校の顧問と地域指導者、両方から得るものがある。
- 多くの大人と関わり、礼儀が身に付いた。
- 地域指導者の方は、自分の仕事があるのに来てくれて感謝している。

＜保護者＞

- 多方面から指導を受けることで、子どもたちは意欲も技術も向上している。家族、教師以外との関わりも増え、良い経験になると思う。
- 地域指導者は自分の仕事もありながら、休日に指導をしているので、謝金はしっかりと支払われるようにしたい。
- 家庭の費用負担が増えるのであれば、そのスポーツに長けた方が指導できる環境を整備してほしい。

＜拠点校の職員＞

- 生徒がやりたいことに取り組み、充実した活動ができるのであればよいと思う。早く実現してもらいたい。
- 自分が専門ではない競技について、休日に指導がないことはたいへんありがたい。
- 教員の多忙化解消だけが目的の地域移行には反対。

＜指導者＞

- 地域の組織で引き受けると、指導者の負担が減らせると思う。複数の若い世代の指導者の育成・確保が必要だと思う。
- 地域指導者も自分の仕事をしており、休日が必要なのは先生方と同じだと思う。地域に移行するだけでは、地域指導者の負担になるだけであまり変わらない。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・休日の地域部活動も平日の学校部活動と同様に、町が示している部活動のガイドラインに沿って活動した。関係団体や学校との打合せを適宜行い、生徒の状況の把握や活動の方向性の確認を行った。
- ・可能な部は、複数の指導者に登録してもらい、組織的に指導に当たることができるようにした。
- ・活動場所は、羽後中学校の体育館や町の施設（羽後町総合体育館「羽後アリーナ」、*三輪中学校体育館）を教育委員会が提供した。

*三輪中学校はH28に町内の中学校統合により廃校となった。現在、体育館は町中央公民館が管理している。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

【成果】

- 関係者に部活動を地域移行する必要性について周知し、地域部活動の運営体制の大枠を確立できたこと
- 地域の人材や団体、練習会場など、人的、物的資源を確認できたこと
- 地域と学校の協働により、生徒を育成していくことができたこと

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

実践研究で直面した課題	課題に対する対応策・工夫	今後に向けた方針・方向性
部活動に対して、多様な考えがある中で、関係者と連携し、組織的に対応するためには、地域移行の目的を明確にする必要がある。	・地域移行の趣旨について、地域、競技団体、学校関係者への丁寧な周知 ・町として目指す地域移行の検討及び合意形成 ・中学校における部活動の位置付けの見直し	国や県の方針に基づき、羽後町における地域スポーツ、地域運動部活動の在り方を明確にして目指す姿を共有し、地域と連携する運営体制を確立していく。

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	大館市教育委員会 担当課：学校教育課 電話番号：0186-43-7112
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	8校	② 生徒数	1,439人	③ 部活動数	76部活
--------	----	-------	--------	--------	------

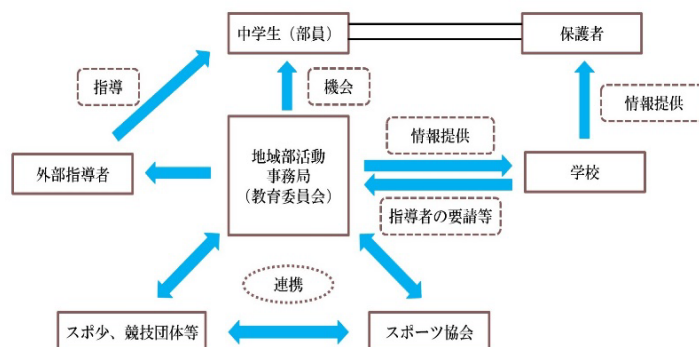
1.2 地域における現状・課題

- ・競技者や指導者としての経験が少ない教員が主担当になっている割合が全体の57%である。
- ・指導に不安を抱えている教員がいるとともに、専門的な技術指導を受けられない生徒もいることが課題となっている。
- ・学校によっては部活動単位で外部コーチや部活動指導員（令和2年度より）を配置して対応している。

1.3 実践研究における取組目標

- ・休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、生徒や保護者、地域への周知や共通理解を図る。
- ・令和4年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行を目指し、市内中学校の部活動のうち、8部活動程度において休日活動の一部を地域部活動として行う。
- ・地域部活動の運営団体の確保など、体制構築に向けた活動を推進する。

1.4 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

（1）市スポーツ協会への協力要請

- ① 市スポーツ団体との連携 ② 検討委員会開設に向けた取組 ③ 今後の事務局設置等に向けた取組

（2）検討委員会の設置

＜メンバー＞ ・市校長会 ・市P連 ・中体連 ・総合型地域スポーツクラブ（3クラブ） ・市スポーツコミッション
・市スポーツ協会 ・市スポーツ振興課 ・市教育委員会

- これから取り組むべき内容についての共通理解や情報共有
- 関係者、関係団体との意見交換

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	大館市内全8中学校のうち、4校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	4部活
③ 種目	柔道部、卓球部、陸上競技部、水泳部

《主な取組例（１）》…大館市立第一中学校

① 運営主体	大館市スポーツ少年団		
② 種目	柔道	③ 参加者数	13人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	大館桂桜高校柔道場
⑥ 指導者人数	1人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑧ 指導者属性	大館市スポーツ少年団指導員		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収あり（1人あたり：100円/年額）		

《主な取組例（２）》…大館市立東中学校

① 運営主体	東中学校親の会		
② 種目	卓球	③ 参加者数	9人
④ 活動日	土曜日	⑤ 活動場所	東中学校卓球場
⑥ 指導者人数	1人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑧ 指導者属性	元保護者		
⑨ 参加会費の有無・金額	徴収あり（1人あたり：100円/年額）		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

（生徒）・専門的な技術指導をしてもらえてよかった。

- ・高校生や他の学校の生徒と練習ができて、とても刺激になった。
- ・先生がいない分、時間や活動のルールなど、自分たちで気を付けながら活動するようになった。

（教師）・心理的負担が軽減した。

- ・平日と休日の指導に一貫性があり、生徒も迷うことなく活動できたようだ。
- ・指導者の方には、生徒一人一人に対して丁寧に指導にあたっていたできりがたかった。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

・練習会場の開錠と施錠

（他の部活動は学校部活動として活動しているため、開錠・施錠の必要はなかったが、今後どうしていくか。）

・練習道具等が破損した場合は、どのように対応するか。地域運動部活動としての対応か、学校としての対応か。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・生徒は、より専門的な指導を受けることができた。
- ・指導経験のない部活動担当者の心理的負担が軽減された。
- ・事務局設立に向け、市スポーツ協会と方向性を共にすることができた。
- ・運動部活動の地域移行に向けて、地域の実情や今後の課題、検討事項等について共有することができた。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】 ・市スポーツ協会を中心に、計画的に検討会を開催し、各関係団体の意向や学校や保護者のニーズ等も踏まえながら進めていく必要がある。	【地域特有の課題への対応策】 ・長期的な見通しをもった合同チームの編成計画と大会参加資格基準のすりあわせを進める。
【指導者の確保方策】 ・市スポーツ協会を中心として、各関係団体等と連携を取りながら、指導者確保に務める。 ・新たな指導者の育成のための研修会等を企画・実施する。	【困窮世帯への支援方策】 ・参加生徒の保険料加入については、市が補助を行う。